

通し番号	4913
------	------

分類番号	30-24-12-01
------	-------------

黄芯系ハクサイによる新作型（9月15日～25日まき）を開発しました

[要約]

近年、種苗会社が育成した黄芯系ハクサイの早生品種‘ほまれの極み’及び‘菜時黄’は、低温結球性、耐寒性及び晩抽性を有し、従来の県内ハクサイ栽培で播種限界とされていた9月5日以降にも播種が可能である。‘ほまれの極み’は、9月15日まきでは12月中旬～1月下旬まで、9月25日まきでは1月下旬～2月下旬まで、寒害の被害程度が少ない3～4kgサイズの収穫が可能である。

神奈川県農業技術センター・生産技術部

連絡先 0463-58-0333

[背景・ねらい]

ハクサイは直売品目として不可欠であり、県内の漬物業者向けにも重要な品目となっている。当所における平成12～20年度の栽培試験により、複数品種・作期の組み合わせにより10月中旬～3月上旬までの連続収穫体系が明らかになり、播種限界は9月5日とされている。

近年、さらに遅まき可能とされる新品種が育成されたことから、本試験では、本県における9月5日以降の遅まき作型の開発及び新品種の選定を行う。

[成果の内容・特徴]

- 1 低温結球性、耐寒性及び晩抽性を有する黄芯系早生品種‘ほまれの極み’（タキイ種苗）や中早生品種‘菜時黄’（カネコ種苗）を9月15日頃に播種すると、12月下旬～1月下旬まで、寒害の被害程度が少ない約3kgの収穫ができる（表1、図3）。
- 2 ‘ほまれの極み’を9月25日頃に播種すると、1月下旬～2月下旬まで、寒害の被害程度が少ない3～4kgの収穫ができる（表1、図3）。
- 3 遅まき作型の播種限界は9月25日頃と考えられるが、厳しい低温下では結球株率が低下する。目安として、平成28年度から3年間の調査から、播種～12月末日の有効積算温度（基準温度：4℃）が約850℃日以上であれば、概ね結球する（図2）。

[成果の活用面・留意点]

- 1 作業分散化や品質向上、台風被災後のまき直しなどの利用法が期待される。
- 2 早生品種‘ほまれの極み’は低温期も肥大が進むため、収穫遅れによる裂球に注意する。
- 3 中早生品種‘菜時黄’は、乾燥などにより心腐れ等の生理障害がみられることがある。
- 4 アブラムシ類、軟腐病等の病害虫被害を軽減できる作型である。

[具体的データ]

播種日	品種	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
9月5日	黄望峰90	● ×							慣行作型 (播種限界)
9月15日	ほまれの極み 菜時黄	● ×							収穫が遅れると裂球 する
9月25日	ほまれの極み	● ×							寒冬年は不結球のお それ

図1 冬どりハクサイ(黄芯系)の新作型図

表1 各播種日における収穫物特性(平成30年度)

播種日	定植日	育苗日数	品種名	収穫日	結球重(kg)	球形指数	不結球株率(%)	内部黒変度 <sup>z</sup>	球内色 <sup>y</sup>	芯長(cm)	空洞割合 <sup>x</sup> (%)	寒害程度 <sup>w</sup> (結球部)	裂球割合 <sup>v</sup> (%)	抽苔株率 <sup>u</sup> (%)	可販株率(%)
9/5まき	9/20	15	黄望峰90	1/17	5.6	1.46	0.0	0.0	2.4	6.8	13	1.5	0	0	100
				2/14	5.8	1.48	0.0	0.0	2.0	8.3	13	2.1	0	0	100
9/15まき	10/1	16	ほまれの極み 菜時黄	1/17	3.1	1.36	0.0	3.1	2.1	3.3	13	1.8	0	0	100
					3.6	1.45	0.0	37.5	2.0	4.9	0	0.8	0	0	100
9/28まき	10/10	12	ほまれの極み	1/28	2.8	1.36	0.0	0.0	2.9	3.2	25	0.8	0	0	100
				2/26	4.1	1.27	0.0	0.0	2.5	5.4	13	1.8	0	0	100

<sup>z</sup>発生程度は、なし(0)～甚(4)の5段階評価とし、発生度=Σ(発生程度×発生数) / (調査数×4) × 100から算出した。<sup>y</sup>縦断面の葉色を薄(1)～濃(5)の5段階で達観評価した。<sup>x</sup>芯部空洞の発生株率。<sup>w</sup>出荷状態における結球部の寒害程度をなし(0)～甚(4)の5段階で達観評価した平均値。4が出荷不能とした。<sup>v</sup>裂球程度をなし(0)～甚(4)の5段階で達観評価し、出荷不能に相当する3及び4の発生株率。<sup>u</sup>花茎が伸長し、花蕾が発達して出荷不能な株の発生率。

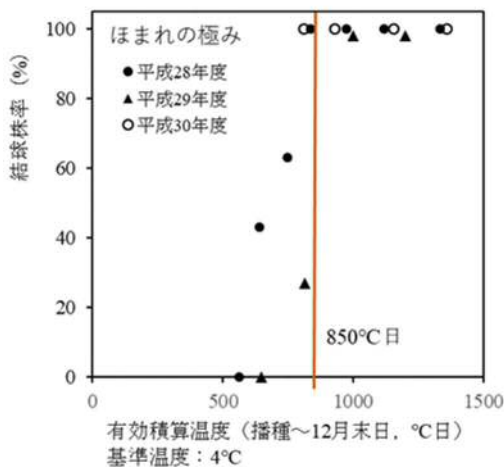


図2 播種～12月末日の有効積算温度と結球株率



図3 1～2月収穫の‘ほまれの極み’縦断面

[資料名] 平成28～30年度試験研究成績書

[研究課題名] 冬どりハクサイの新作型開発

[研究期間] 2016(平成28)年度～2018(平成30)年度

[研究者担当名] 高田敦之

[協力・分担関係]